

TERENCE

TS-01

取扱説明書

ご使用の前に、必ず取扱説明書に記載されている内容をよくお読みの上、安全に正しくお取り扱いください

目次

一、演奏前の準備

1.機能の特徴	1
2.各部の名称	1
3.電源アダプターと内蔵バッテリーの使用	2
4.イヤホン/音声出力の使用.....	2
5.MIDI機能の使用.....	3

二、ピアノの演奏ガイド

1.電源をオン/オフ.....	3
2.音色を選ぶ.....	3
3.「+」/「-」ボタンで音色を選ぶ.....	3
4.パーカッション演奏モード	4
5.演奏音に効果をかける.....	4
6.レッスンモードの設定.....	4
7.録音/再生機能.....	5
8.シャープ/フラット機能.....	5
9.リズム/コード/プログラミング機能	5
10.デモ曲の再生.....	7
11.その他の機能.....	7

三、付録

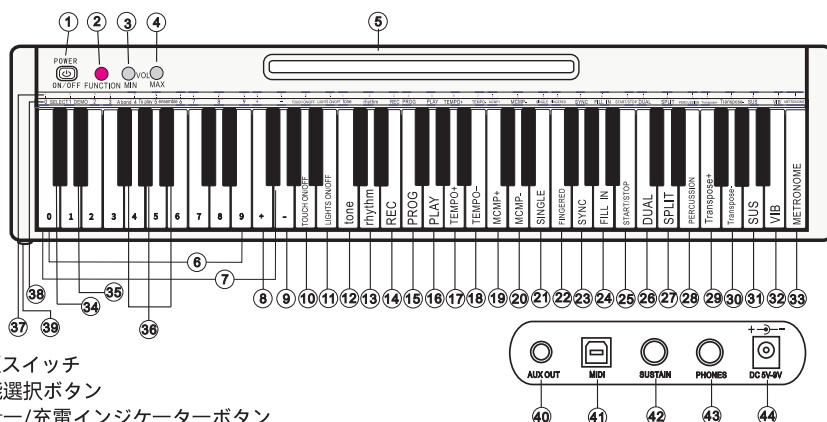
付録一.140種類の音声一覧	9
付録二.128種類のリズム一覧	10
付録三.60曲のデモ曲一覧.....	11
付録四.61種類のパーカッション.....	11
付録五.シングルフィンガーコード一覧.....	12
付録六.マルチフィンガーコード一覧	13

一、演奏前の準備

1. 機能の特徴

- | | |
|---|---------------------------------------|
| 1.61標準鍵 電子キーボード | 11.60曲のデモ曲 |
| 2.発光キー | 12.メトロノーム |
| 3.レッスンアプリと接続可能 | 13.シングルフィンガーコード、
マルチフィンガーコード |
| 4.レッスンアプリと有線接続 | 14.サスティーンとビブラート |
| 5.61種類のパーカッション | 15.トランスポーズ |
| 6.デュアルボイス、デュアルキーボード機能 | 16.マスターボリューム、伴奏ボリューム、
ビートテンポコントロール |
| 7.140種類の音声、128種類のリズム | 17.MIDI入力 / 出力 |
| 8.演奏の録音 / プログラミング / 再生 | 18.周辺機器への充電
(バッテリーへの充電もサポート) |
| 9.シンクロナイザー、差し込み | |
| 10.3つのレッスンモード：一つのキーで練習
/発光キーで練習/合奏して練習 | |

2. 各部の名称



- | | | |
|-------------------------------|---------------------|---------------------|
| 1.電源スイッチ | 18.リズムテンポ+ ボタン | 32.サスティーンキー |
| 2.機能選択ボタン | 19.伴奏音量+ ボタン | 33.メトロノームキー |
| 3.音量-/充電インジケーターボタン | 20.伴奏音量- ボタン | 34.一曲歌うキー |
| 4.音量+ ボタン | 21.シングルフィンガーコードキー | 35.連続で歌うキー |
| 5.譜面受部挿入用の溝 | 22.マルチフィンガーコードキー | 36.デモ曲の3つのレッスンモードキー |
| 6.(0-9) 数字キー | 23.シンクロナイザーキー | 37.音符表示キー |
| 7.コードエリアキー | 24.カッティングボードキー | 38.機能表示キー |
| 8.数字「+」キー | 25.リズムスタート / ストップキー | 39.直径3.5mmのイヤホンジャック |
| 9.数字「-」キー | 26.デュアルボイスモードキー | 40.音声出力端子 |
| 10.強いタッチ感度 オン/オフ | 27.デュアルキーボードモード | 41.MIDI・スマホ端子 |
| 11.ペロシティオン/オフ | 28.キーボードドラムキー | 42.サスティーンペダル端子 |
| 12.音色選択ボタン | 29.シャープキー | 43.直径6.5mmのイヤホンジャック |
| 13.リズム選択ボタン | 30.フラットキー | 44.電源アダプタ端子 |
| 14.録音ボタン | 31.ビブラートキー | |
| 15.プログラミングボタン | | |
| 16.演奏の録音 / プログラミング
/ 再生ボタン | | |
| 17.リズムテンポ+ ボタン | | |

3.電源アダプターと内蔵バッテリーの使用

3.1 電源アダプターの使用: 本体ではリチウムイオンバッテリーが内蔵されており、ピアノに電源を入ると直接使えます。また、本体と同梱されてる電源アダプターを本体に差し込み、充電することができます。電源アダプターの標準ソケットを対応するACコンセントに差し込み、もう一方の端を本体背面の「DC5V-9V」ジャックに差し込みます（電源アダプターを差し込んだ後は、緑色の充電ランプが点灯し、本体が充電中であることを示します）。本体の電源スイッチをオンにすると、そのまますぐ使えるようになります。

（電源を入れた後、赤色の電源インジケーターと緑色の充電インジケーターが同時に点灯し、機器のバッテリーがフル充電されたら緑色の充電インジケーターが消灯します）。

注意: 電源アダプターを使用すると自動的に機器への充電が行われます。機器がフル充電されると、緑色のランプが点滅します。

3.2 内蔵バッテリーの使用: 本体では1800 mAhのリチウムイオンバッテリーが内蔵されています。外出時に本体を使う必要がある場合は、内蔵バッテリーで機器を充電することができます。

3.3 機器の充電: 機器を充電できる内蔵バッテリーの残量が低すぎると、音量低下や音質劣化が起きることがあります。バッテリーの残量が低い原因で、赤色の電源インジケーターが点滅し、機器が再起動したりするので、気づいたら早速バッテリーを充電する必要があります。（充電したら緑色の充電インジケーターが点灯し、バッテリーがフル充電された状態になると消灯します）。

警告: 電源アダプターが機器に接続されている場合、機器は電源スイッチのオン/オフに関係なく充電されている状態になります。機器を長期間使わないときは、必ずプラグをACコンセントから抜いてください。バッテリーが破損し、発熱や火災の原因になります。

注意: 1.1.内蔵バッテリーをフル充電するには約2-3時間かかります。バッテリーを6時間以上長時間充電しないでください。発熱や火災の原因になります。

1.2.機器を充電する際は、事故を防ぐために人の見張りで充電を行ってください。

1.3.電源アダプターは必ず本社が指定したものをお使いください。他の電源アダプターを使うと機器の部品が高温になって、機器の内部構成部品の損傷を引き起こす可能性があります。

4.音声出力の使用:

本体の音声出力（AUX OUT）は、パワーアンプ内蔵のスピーカーと接続して音声出力端子まで届くように設定されております（画像1をご参照してください）。

4.1 イヤホンの使用: 本体のヘッドホンプラグは主に6.5直径と3.5直径の2種類があります。使用したいヘッドホンに対応するジャック（PHONES）に挿入し、自動的に本体のスピーカーは他の人に影響を与えないようにミュートされます（本体のスピーカーをミュートから解除したい場合は、ヘッドホンのプラグをジャックから抜いてください）。

注意: 直径6.5のジャックは本体の背面（PHONES）に、直径3.5のジャックは本体の前面左側（PHONES）にあります。

5.MIDI機能の使用:

パソコンと繋ぐUSBケーブルを本体のMIDI端子に挿入して接続すれば、様々なMIDI編集ソフト(例: Cakewalkなど)を通じて、本体とパソコンの間でMIDIメッセージを転送できます。

注意: 本体はパソコンと接続用のケーブルとMIDI編集ソフトが付属していませんので、ユーザーご自身で購入する必要があります。

二、ピアノの演奏ガイド

1. 電源をオン/オフ:

電源スイッチを"オン"の位置まで押して、電源が入れます。LEDライトが点灯し、自動で演奏モード(「ピアノ」の音色で演奏できるモード)に設定されます。毎回機器を起動する際、本体は自動で「000」(ピアノの音色)と「000」(クラブミュージック)にリセットされます。

2. 音色を選ぶ:

本体は「000」から「139」までの140種類のリアル音色が内蔵されており、自由に選択できます。「機能」ボタンを押しながら「音色選択」ボタンを押して、数字キーから音声を選択できます。

(例)

①番号「018」の音色を選択したい場合、最初は「機能」ボタンを押しながら「音色選択」ボタンを押します→数字キー「0」を押します→数字キー「1」を押します→数字キー「8」を押します→最後は「機能」ボタンから手を離せば「018」の音色で演奏できます。

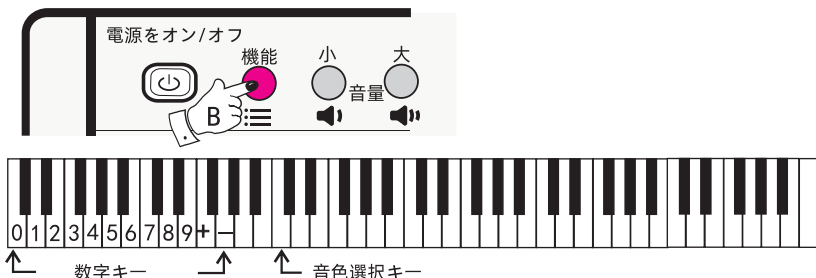
②番号「113」の音色を選択したい場合、最初は「機能」ボタンを押しながら「音色選択」ボタンを押します。→数字キー「1」を押します→数字キー「1」をもう一度押します→数字キー「3」を押します→最後は「機能」ボタンから手を離せば「113」の音色で演奏できます。

(下の画像をご参照してください。)

3. 「+」/「-」ボタンで音色を選ぶ:

音色選択モードでは、「+」または「-」ボタンを押すと、好きな音色が出るまでに音色番号を順に増減できます。

注意: 希望する音色が出てくるまでは「機能」ボタンを押したままにしてください。マスターボリューム以外の機能を使いたい場合は、「機能」ボタンと対応するファンクションボタンを同時に押す必要があります。ファンクションボタンを押した後は、「機能」ボタンを離してください。



4. パーカッション演奏モード

①パーカッション演奏モード：最初は「機能」ボタンを押しながら「パーカッション演奏」ボタンを押します。その後「機能」ボタンを離すと、それぞれの鍵盤が様々な打楽器に対応します。

②パーカッション演奏モードをオフにする：「機能」ボタンを押しながら「パーカッション演奏」ボタンを再度押した後、「機能」ボタンを離すとパーカッション演奏モードはオフになります。

（各鍵盤で対応する打楽器一覧は付録Ⅳを参照してください。）

5. 演奏音に効果をかける

ビブラート：「機能」ボタンを押しながら「ビブラート」キーを押します。「機能」ボタンを離すと、演奏音に対してビブラート（音の揺れ）の効果をかけることができます。上記の操作を1回繰り返すと、ビブラートが解除されます。

サステーン：「機能」ボタンを押しながら「サステーン」キーを押します。「機能」ボタンを離すと、演奏時の音を長く延ばすことができます。上記の操作を1回繰り返すと、サステーンが解除されます。

6. レッスンモードの設定

6.1 レッスンモード1（一つのキーで練習）：「機能」ボタンを押しながら「一つのキーで練習」キーを押すと、一つのキーで練習できるレッスンモードに入れます。キーボードのいずれかのキーを押すと、デモ曲の主旋律と伴奏メロディーが同時に演奏されます。練習したいデモ曲を選択した後に演奏を行わなかった場合、演奏が始めるまでに選択したデモ曲の伴奏メロディーの一部を繰り返し再生します（ピアノの初心者に適した機能です）。レッスン中は、「+」または「-」ボタンを押してデモ曲を選択することができます。

デモ曲を選ぶ：「機能」ボタンを押しながら「+」または「-」キーで好きなデモ曲を選択することができます。

「機能」ボタンを押しながら「一つのキーで練習」キーまたは「スタート/ストップ」キーを押して「機能」ボタンを離すと、一つのキーで練習するレッスンモードをオフにできます。

6.2 レッスンモード2（発光キーで練習）：「機能」ボタンを押しながら「発光キーで練習」キーを押すと、発光キーを見ながら練習できるレッスンモードに入り、ユーザーが選択したデモ曲の伴奏メロディーを再生します。ユーザーは発光しているキーを次々と押して曲を演奏しなければなりません。

演奏中で正しいキーが押されていない、またはどのキーも押されていない場合は、正しいキーが押されるまでにこの小節のメロディーが繰り返し再生されます。レッスン中は「+」または「-」キーで好きなデモ曲を選択することができます。

デモ曲を選ぶ：「機能」ボタンを押しながら「+」または「-」キーを押すと好きなデモ曲を選択できます。「機能」ボタンを押しながら再び「発光キーで練習」キーまたは「スタート/ストップ」キーを押して「機能」ボタンを離すと、発光キーを見ながら練習するレッスンモードをオフにできます。

6.3 レッスンモード3（合奏して練習）：「機能」ボタンを押しながら「合奏して練習」キーを押すと合奏のレッスンモードに入れ、本体からデモ曲の伴奏メロディーが再生されます。ユーザーは本体から再生される伴奏メロディーに従って主旋律を演奏することができます。レッスンモードに入って3秒間演奏しないと自動的にデモ曲の主旋律が再生され、キーの発光機能でユーザーにリマインドします。また、レッスン中は、「+」または「-」キーで好きなデモ曲を選択することができます。

「機能」ボタンを押しながら再び「合奏して練習」キーまたは「スタート/ストップ」キーを押して「機能」ボタンを離すと、合奏レッスンモードをオフにできます。

6.4曲名と曲順は（付録三）をご参照してください。

7. 録音/再生機能

「機能」ボタンを押しながら「録音」ボタンを押します。「機能」ボタンを離すと、録音が始まります。

演奏終了後は、「機能」ボタンを押しながら「再生」ボタンを押してください。

録音されたメロディーが最初から最後まで再生されます。再度録音された演奏を聞きたい場合は、もう一度「機能」ボタンを押しながら「再生」ボタンを押してください。録音待機状態から抜けるには、「機能」ボタンを押しながら「録音」ボタンを押してください。または同時に「スタート/ストップ」ボタンを押し、「機能」ボタンを離してください。

注意：本体は最大695個の音符を録音できる設定になっております。695個の音符を録音済み後、新しく演奏された音は録音されません。

8. シャープ/フラット機能

本体では対応するキーの音程を半音上下できるシャープ/フラット機能が搭載されています。「機能」ボタンを押しながら「シャープ」または「フラット」キーを押せば、音程を「+6」から「-6」の範囲で、半音上下することができます。

「機能」ボタンを押しながら「シャープ」と「フラット」キーを同時に押すと、デフォルト値「00」に戻ります。

9. リズム/コード/プログラミング機能

9.1 リズムの演奏

リズムスタート：「機能」ボタンを押しながら「スタート/ストップ」キーを押せば、リズムの演奏が始まります。

リズムストップ：「機能」ボタンを押しながら再度「スタート/ストップ」キーを押した後、「機能」ボタンを離せばリズムの演奏が終了します。

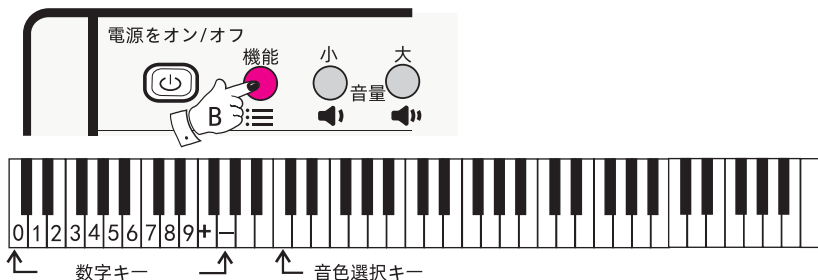
9.2 リズムの選択

a. 本体には「000」から「127」までの番号が付けられた128種類のリズムが内蔵されております。「機能」ボタンを押しながら「スタート/ストップ」キーを押せば、「数字」キーで好きなリズムを選択することができます。

例) リズム番号「108」を選択した場合、まずは「機能」ボタンを押しながら「スタート/ストップ」キーを押します→数字キー「1」を押します→数字キー「0」キーを押します→数字キー「8」を押します→最後に「機能」キーを離します。

b. 「+/-」キーを使用して好きなリズムを選択することもできます。「機能」ボタンを押しながら「+/-」キーを押せば、リズム番号を順に増減させることができます。リズムを選択できたら「機能」ボタンを離します。

(下の画像をご参照してください。)



9.3 シンクロナイザー/コード伴奏モード

A. リズムと主音を同時に演奏させるには、「機能」ボタンを押しながら「シンクロナイザー」キーを押してください。「機能」ボタンを離して、コードエリアのキー（左から数えて1～19番のキー）を押すと、演奏された音がリズムと同時に演奏されます。

b. シングルフィンガーコード

「機能」ボタンを押しながら「シンクロナイザー」キーを押した後、「シングルフィンガーコード」キーを押してください。「機能」ボタンを離して、コードエリア（左から数えて1～19番のキー）でシングルフィンガーコードを弾くと、シングルフィンガーコードがリズムと同時に演奏されます。

C. マルチフィンガーコード

「機能」ボタンを押しながら「シンクロナイザー」キーを押した後、「マルチフィンガーコード」キーを押してください。「機能」ボタンを離して、コードエリア（左から数えて1～19番のキー）でマルチフィンガーコードを弾くと、マルチフィンガーコードがリズムと同時に演奏されます。

注意：「機能」ボタンを押しながら「シングル/マルチフィンガー」キーを1回押せば、「シングル/マルチフィンガーコード」機能をオフにできます。

9.4 メトロノームのオン：通常状態で「機能」ボタンを押しながら「メトロノーム」キーを押すたびに、1/4ビート→2/4ビート→3/4ビート→4/4ビート→停止→1/4ビート...とメトロノームのテンポがループ再生されます。

メトロノームのオフ：「機能」ボタンを押しながら「スタート/ストップ」キーを1回押せば、メトロノーム機能をオフにできます。

9.5 曲の挿入：リズム演奏中に「機能」ボタンを押しながら「挿入」キーを押すと、本体は自動的に印象が強い間奏曲を演奏し、間奏曲の再生が終了したらリズムの伴奏を続けて演奏します。

9.6 テンポの調整：本体のテンポはデフォルトとして120BPMで設定されており、「機能」ボタンを押しながら「リズムテンポ+」または「リズムテンポ-」キーを押すと、リズムのテンポを自由に調整できます。本体のリズムテンポは30～300BPMの範囲で、合計270種類内蔵されております。デフォルトの再生テンポは120BPMになりますけど、好きなデモ曲を選択して演奏する場合、その曲のテンポがメインテンポになります。デモ曲と同様に、好きなリズムを選択して演奏する場合、選んだリズムのテンポがメインテンポになります。

「機能」ボタンを押しながら「リズムテンポ+」または「リズムテンポ-」キーを2秒

以上押し続けると、テンポを連続で増減できます。

デモ曲が演奏されている場合、「機能」ボタンを押しながら同時に「リズムテンポ +」と「リズムテンポ -」キーを押すと、再生中のデモ曲に合わせてテンポが調整されます。

リズムが演奏されている場合、「機能」ボタンを押しながら同時に「リズムテンポ +」と「リズムテンポ -」キーを押すと、再生中のリズムに合わせてテンポが調整されます。

9.7 プログラミングと再生: 「機能」ボタンを押しながら「プログラミング」キーを押してください。「機能」ボタンを離すと、本体は自動的にパーカッション演奏モードに入り、鍵盤それぞれに対応する打楽器を演奏することができます。演奏されたパーカッションメロディーは全部記録され（ドラムは最大128個まで記録できる）、演奏が終了後、「機能」ボタンを押しながら「再生」キーを押せば、先程演奏されたパーカッションメロディーを再生できます。再生する時は、「リズムテンポ +」または「リズムテンポ -」キーで再生速度を調整することができます。「機能」ボタンを押しながら「プログラミング」キーを再び1回、または「スタート/ストップ」キーを1回押しせば、プログラミング機能をオフにできます。

10. デモ曲の再生

10.1 一曲歌う: 「機能」ボタンを押しながら「一曲歌う」キーを押すと、デモ曲プレイリストの一曲目を再生します。再度「機能」ボタンを押しながら「一曲歌う」キーを1回押すと再生が停止し、2回押すと次の曲にスキップします。指定のデモ曲を選択した場合、この曲はリピート再生されます。

注意: 「機能」ボタンを押しながら「一曲歌う」キーを1回押すと、一曲のみ再生されます。2回押すと再生が停止され、3回押せば次の曲にスキップします。4回目以降は次から次へと本体で内蔵されてるデモ曲を選択して再生できます。

10.2 連続で歌う: 「機能」ボタンを押しながら「連続で歌う」キーを押すと、デモ曲プレイリストの一曲目から再生します。当時再生中の曲が終了すると次の曲を再生し、再び「連続で歌う」キーを押すまではプレイリストの曲を繰り返し再生し続けます。

注意: 「一曲歌う」または「連続で歌う」機能を解除するには、「機能」ボタンを押しながら「スタート/ストップ」キーを押してください。

10.3 「一曲歌う」または「連続で歌う」キーを押すと、自動的に選曲モードに入ります。「機能」ボタンを押しながら「数字」キーでデモ曲の対応番号を入力すれば、好きなデモ曲を選択することができます。「数字」キーを押した後は、「機能」ボタンを離してください。

10.4.デモ曲一覧は付録三（P13）をご参照してください。

11. その他の機能

11.1 音量大/小 ボタン: 本体の音量を調整することができます。本体に電源を入れた状態で、音量の「大」または「小」ボタンを押せば、音量を直接調整できます。

11.2 伴奏音量 +/- キー: 「機能」ボタンを押しながら「伴奏音量 +」キーを押せば、本体の伴奏音量を上げることができ、最大「10」まで調整することができます。上記と同じ方法で「伴奏音量 -」キーを押せば、伴奏の音量を最小「1」まで調整することができます。

11.3 ペロシティ オン/オフ: 「ペロシティ オン/オフ」キーは、鍵盤のタッチ感度を強くするキーであり、電源を入れた時は自動的にオンになります。電源を入れた後、「機能」ボタンを押しながら「ペロシティ オン/オフ」キーを押せば、この機能をオフにできます。再度この機能をオンにするには、上記の操作をもう一度繰り返してください。

11.4 デュアルボイスキー: 「機能」ボタンを押しながら「デュアルボイス」キーを押してください。2つの楽器音を同時に鳴らすことができます。「機能」ボタンを押しながら「音色選択」ボタンと「数字」キーを押せば、希望の第2種類の音色を選択できます。また、「機能」を押しながら再度「デュアルボイス」キーを押すと、この機能をオフにできます。

11.5 デュアルキーボードキー: 「機能」ボタンを押しながら「デュアルキーボード」キーを押してください。そしてキーボードはC2~B3およびC4~C7の2つのセクションに分けられます。キーボードのC2~B3の位置はC4~B5の位置に対応します。「音色選択」ボタンを押して音色を選び、C4~C7キーの音色と入れ替わることができます。鍵盤を2つに分けて、同時に別々の音色で演奏することができます。「機能」ボタンを押しながら「デュアルキーボード」キーを押すと、この機能をオフにできます。

11.6 発光キーのオン/オフ: 「発光」キーはキーボードライトをオンまたはオフにするキーです。本体に電源を入れた後、発光キー機能は自動でオンになります。「機能」ボタンを押しながら「発光」キーを押せば、この機能がオフになります。再度「発光」キー機能をオンにするには、上記の操作をもう一度繰り返してください。

付録、一 140種類の音色一覧

000	グランドピアノ	047	ティンパニ	094	シンセサウンド7
001	アポカリプス・ブリーズ	048	弦楽合奏-1	095	シンセサウンド8
002	グランド電子ピアノ	049	弦楽合奏-2	096	効果音1 雨の音
003	バーピアノ	050	合成弦楽-1	097	効果音2 サウンドトラック
004	電子ピアノ1	051	合成弦楽-2	098	効果音3 水晶
005	電子ピアノ2	052	教会ハーモニー合唱	099	効果音4 大気
006	ハーブシコード	053	ボーカルハーモニー	100	効果音5 ブライト
007	クラヴィコード	054	ボーカル・シンセシス	101	効果音6 化け物
008	チェレスタ	055	オーケストラ・ユニゾン	102	効果音7 エコー
009	カリヨン	056	トランペット	103	効果音8 SF
010	オルゴール	057	トロンボーン	104	シタール
011	ビブラフォン	058	ユーフォニウム	105	バンジョー
012	マリンバ	059	トランペットミュート	106	三味線
013	シロフォン	060	フレンチホルン	107	そうのこと
014	チューブラベル	061	ウインド・アンサンブル	108	カリンバ
015	ダルシマー	062	シンセ・プラス-1	109	バグパイプ
016	電子オルガン	063	シンセ・プラス-2	110	バスビオール
017	パーカシッパ・オルガン	064	ソプラノサックス	111	シャナイ
018	ロック・オルガン	065	アルトサックス	112	ベル
019	教会オルガン	066	テナーサックス	113	アゴゴ
020	リードオルガン	067	アルトサックス	114	ワイルドポップス
021	アコーディオン	068	オーボエ	115	木魚
022	ハーモニカ	069	イングリッシュホルン	116	太鼓
023	タンゴ・アコーディオン	070	ファゴット	117	メロディー
024	ギター (ナイロン)	071	クラリネット	118	マーチングテナードラム
025	ギター (スチール弦)	072	ピッコロ	119	エコードラム
026	ギター (ジャズ)	073	フルート	120	ギターシンバル
027	ギター (クリーントーン)	074	リコーダー	121	フレットノイズ
028	ギター (ミュート)	075	パンパイプ	122	海の波音
029	ディストーションギター	076	瓶を吹く音	123	鳥のさえずり
030	ハードなディストーションギター	077	尺八 (日本楽器)	124	着信メロディー
031	ギターハーモニクス	078	口笛	125	ヘリコプター
032	コントラバス (指弾き)	079	オカリナ	126	拍手
033	エレキベース(指弾き)	080	シンセリード1 (矩形波)	127	銃声
034	エレキベース(ピッキング)	081	シンセリード2 (のこぎり波)	128	楊琴(ヤンチン)
035	フリーベース	082	シンセリード3	129	琴
036	ベース1(親指で叩いて弾く)	083	シンセリード4	130	中阮 (チョンルアン)
037	ベース2(親指で叩いて弾く)	084	シンセリード5	131	琵琶 (ビバ)
038	シンセベース-1	085	シンセリード6 (人声)	132	大きいサイズのチャルメラ
039	シンセベース-2	086	シンセリード7 (平行5度)	133	チャルメラ
040	ヴァイオリン	087	シンセリード8 (ベース+リード)	134	二胡(アウフー)
041	ヴィオラ	088	シンセ音1 (ニューエイジ)	135	粤胡 (ユエフー)
042	チェロ	089	シンセ音2 (癒やし)	136	笛子(ディズ)
043	コントラバス	090	シンセ音3	137	梆笛 (バンディー)
044	トレモロ・ストリングス	091	シンセ音4 (合唱)	138	古箏(グチェン)
045	ピチカート・ストリングス	092	シンセ音5	139	曲笛 (チュイディー)
046	管弦楽曲のハーブ	093	シンセ音6		

付録、二 128種類のリズム一覧

000	クラブミュージック	043	即興 インドの舞楽	086	ディスコ・ダンス
001	16ビートポップス	044	グアドループのダンス	087	ディスコ・サンバ
002	8ビートポップス	045	12ビートのレゲエ	088	ブリットポップ
003	8ビートソウル	046	16ビートのレゲエ	089	クラブ・ダンス
004	8ビートロック	047	バサノバ	090	モダンR&B
005	ポップラップ	048	マンボ1	091	憂鬱なフォックストロット
006	ポップ・ロック	049	マンボ2	092	(1920年代に流行した) チャールストン
007	60年代ソウル	050	ボレロ	093	ディスコ・ポップ
008	70年代ソウル	051	クンビアダンス	094	ディスコ・ソウル
009	ファンク	052	ラテン・ロック	095	ディスコミュージック
010	16ビート・シャッフル	053	ラテン・ディスコ	096	ヨーロビート
011	ツイストダンス	054	ティファナ	097	ラップ
012	ブリットポップ	055	レゲエ	098	ワイルド・ダンス
013	ハードロック	056	スローロック1	099	カントリー・ミュージック1
014	フュージョン・ジャズ	057	スローロック2	100	カントリー・ミュージック2
015	ファンク・シャッフル	058	スローロック3	101	ビッグバンド・シャッフル1
016	フュージョン・シャッフル	059	ソウルミュージック	102	ビッグバンド・シャッフル2
017	軽快ロック1	060	8ビートアドリア	103	ビッグバンド・シャッフル3
018	軽快ロック2	061	クラシックピアノ・バラード	104	ハイスピード・ビッグバンド1
019	情熱ロック	062	アンブラグド	105	ハイスピード・ビッグバンド2
020	ジャズ・ロック	063	ポップ・バラード	106	ワイルドポップス
021	速いゴスペル・ミュージック	064	ニューエイジ・ポップ	107	サウス・アフリカン・ジャズ
022	ボカロック	065	8ビートモダン	108	ポップジャズ
023	ロック・ビリー	066	カントリー・バラード	109	ジャズ・ビッグバンド
024	ブギロック	067	ラブソング	110	ジャズ・クラブ
025	チャチャロック	068	シティポップス	111	レゲエ
026	クラシックロック	069	エレクトロポップ	112	初期のボルカ
027	ロックシャッフル	070	聴覚のバラード	113	ボルカ・ポップス
028	ロックポップ	071	ピアノ・バラード	114	スロー・ブルース1
029	ワルツ	072	R&B・バラード	115	スロー・ブルース2
030	チャチャチャ	073	ロックバラード	116	スロー・ブルース3
031	ルンバ	074	スローで軽快なテンポ	117	ポップ・ワルツ
032	ラップロック	075	バラードの類似曲	118	アメリカン・マーチ
033	パソドブレ	076	ポップで壮大なメロディー	119	マーチ
034	サンバ1	077	動感メロディー1	120	タランテラ
035	サンバ2	078	動感メロディー2	121	監禁ロック
036	ロックミュージック1	079	ファンク・ディスコ	122	スウィングワルツ
037	ロックミュージック2	080	サタデーナイトソング	123	ピアノバー
038	フォックストロット	081	クラブ・ラテン	124	ジャズ・ワルツ1
039	ワルツ	082	チョコレート・ディスコ	125	ジャズ・ワルツ2
040	アルゼンチンタンゴ	083	フォックストロット・ディスコ	126	曲を表示
041	イタリアンタンゴ	084	ファンク・ディスコ	127	ボルカ
042	サルサ	085	ディスコ支配曲		

付録、三

一、デモ曲一覧

000	喜びにあふれて	020	二泉映月	040	夢の中の水の里
001	草原の夜	021	如来神掌	041	おばあちゃんの澎湖湾
002	よく家に帰ろう	022	紫竹調	042	恋人
003	幸せな日々	023	吉祥三聚	043	無事を願う
004	子供時代	024	愛がそんなものだ	044	欲望に駆けられた罰
005	たわんだ三日月	025	あのはるか遠い場所には	045	羊飼いの少年のピッコロ
006	瀏陽川	026	草原の歌	046	春節の序曲
007	オボでの出会い	027	市場に向かう途中	047	未永く、お幸せに
008	桃の花が咲いているあの場所で	028	紅蓋頭を取り払え!	048	歩廊
009	チベット高原	029	同じ歌	049	ウェルカムマーチ
010	阿里山の娘	030	山道の十八曲り	050	喜びに輝く
011	新時代に入る	031	旅愁	051	頑張れば勝つ
012	梁山伯と祝英台	032	幸せの里	052	ダンスソング
013	花はどうしてこんなに赤いのか	033	カンディンのラブソング	053	新疆の舞曲
014	善人には安らかな人生を	034	鐵血丹心	054	夕焼けに酔う
015	競馬	035	京調	055	草原の讚美歌
016	馬に鞭を入れて食料を運ぶ	036	梅	056	いつまた、君と
017	次第に昇進	037	西樓の満月	057	蝸牛とオリオール
018	美しい太湖	038	さようなら大別山	058	軍艦マーチ
019	8月のローレルの花	039	謹賀新年	059	威武の師

付録、四

二、パーカッション一覧

C2	C#2	D2	D#2	E2	F2	F#2	G2	G#2	A2
A#2	B2	C3	C#3	D3	D#3	E3	F3	F#3	G3
G#3	A3	A#3	B3	C4	C#4	D4	D#4	E4	F4
F#4	G4	G#4	A4	A#4	B4	C5	C#5	D5	D#5
E5	F5	F#5	G5	G#5	A5	A#5	B5	C6	C#6
D6	D#6	E6	F6	F#6	G6	G#6	A6	A#6	B6
C7									

付録五、シングルフィンガーコード一覧

	M	m	7	m7
C				
C#				
D				
D#				
E				
F				
F#				
G				
G#				
A				
A#				
B				

付録六、マルチフィンガーコード一覧

	M	m	7	m7	dim7	M7	m7-5	dim
C								
C#								
D								
D#								
E								
F								
F#								
G								
G#								
A								
A#								
B								

マルチフィンガーコード一覧 二

	aug	sus4	7sus4	m add9	mM7	7-5	add9
C							
C#							
D							
D#							
E							
F							
F#							
G							
G#							
A							
A#							
B							

安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品寿命を延ばし、お客様やほかの方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

- 1.本体のケースを開けて内部の部品を分解したり改造したりしないでください。使用中に異常・故障が発生した場合、直ちに使用を中止して、有資格者による修理を受けてください。
- 2.指定された電圧と付属の電源アダプターを使用してください。異なった電圧や電源アダプターを使うと、故障、発熱、火災などの原因になります。
- 3.電源アダプタを熱源（例：ヒーターやラジエーターなど）の近くに置かないでください。電源コードを傷つけないように、無理に曲げたり、重いものを乗せないでください。
- 4.感電や火災、故障の原因になりますので、本体のプラグを多目的ソケットに差し込まないでください。長時間使用しない場合や雷が鳴っているときは、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグをコンセントから抜くときは、電源コードを直接引っ張らないで、必ずアダプタを持って抜いてください。
- 5.外観の破損や内部部品の破損を防止するために、使用中、保管中にかかわらず、本体を次のような場所に置かないでください。
 - ①ほこりの多い場所や激しい振動のある場所
 - ②異常に高温または低温になる場所（例：直射日光の当たる場所、暖房器具の周辺、炎天下の車中など）
- 6.落下による破損を防止するために、本体を不安定な場所に置かないでください。本体の上に座ったり、重いものを上に置いたりしないでください。
- 7.]本体を浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しないでください。製品内部に水などの液体が入ると、感電や火災、または故障の原因になりますので、液体の入った容器を本体の上に置かないでください。
- 8.本体のほこりを拭き取る前に、電源アダプターのプラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。塗料、有機溶剤または化学物質が含まれた布で本体を拭かないでください。パネルや鍵盤が褪色する可能性がありますので、本体の上にビニールやプラスチックの製品を置かないでください。

9.湿度が高い時期は、過度の湿気で本体内部通信に影響を与えますので、本体を常に通電しておく必要があります。使用中に発生する熱でピアノ内部の水分を分散させ、本体を湿気から保護できます。湿度が非常に高いときは、防塵防湿カバーを使って鍵盤を保護してください。

10. お子様を使う場合、本体は必ず保護者のかたが開封してください。保護者の監視／指導上で、製品をお子様に渡してください。開封したビニール袋は適切に保管、または廃棄してください。

- 本製品の仕様は、改良のため予告なく変更されることがあります。
- 製品取扱説明書・パッケージに記載されている画像はイメージで、実際の商品とは多少異なる場合がございますが、ご了承ください。